

# 関西帯広会

発行人  
会長 小賀 絹子  
編集責任  
事務局長  
石原 好一  
第37号

関西帯広会  
会長 小賀 絹子  
挨拶



「今年で二十五周年」

陽春の候、会員及び郷土の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は本会の活動にご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「関西帯広会」は今年で二十五周年になります。

皆様と一緒に歩んだ年月ですが、世の中の移り変わり(進歩)がとて速く、よく遅れずについてこられたものと思っております。これも皆様の帯広会に対する理解と期待と郷土「十勝帯広」への思いがたいへん強い結果だと思っております。昨年十月に隔年で実行された「ふるさと訪問ツアー」には三十六名が参加し帰郷しました。天候が良く、帯広市長をはじめ親善交流課の方々、市議会の役職の方々等、市を挙げての心温まる歓迎をして頂き、本当に有難うございました。

今、世界中で「新型コロナウイルス」が蔓延し、日本も何もかも自粛を強いられています。先ごろ、我が郷土の二校が選抜高校野球で甲子園への切符を手に入れました。球児たち、学校、親・地域の人々、この「ふるさと会」もどれだけ嬉しく誇りに思った事でしょう。甲子園の近くに居る私達に何か出来ることはないかと意見を交し、来阪したら宿舍訪問と開会式や試合の応援をしようとした。待ち構えていたところでした。コロナウイルスがこの様な地球全体に流行している状態になぜ遭遇してしまったのかと残念でなりません。今日現在、関西の私達も不要な外出・集会などの自粛要請で、どうにもならない状態です。

何だか暗い報告ばかりですが、いつまでも続く訳ではありません。一日でも早く終息し、また楽しい社会生活が出来るよう願って止みません。どうか皆様もお身体に気を付けて、ご活躍されるようお祈り申し上げます。「関西帯広会」も頑張ります。

平成二十二年の市長就任以来、私は、十勝・帯広の自立的な発展をめざし、フードパレーとかちを旗印に、圏域の結びつきを強さを活かしたまちづくりを進めてまいりました。この十年で十勝管内の一体感が強まっており、その一体感がもつ力への自信や、主体的な行動の機運が高まり、域外からの共感も広がっています。

十勝・おびひろの応援団  
関西帯広会

フードパレーとかち

帯広市長  
米沢 則寿様  
ご挨拶



小賀会長をはじめ関西帯広会の皆様には、十勝・帯広の発展のため、関西圏とふるさとをつなぐ重要な役割を担い、日頃から多大なるお力添えをいただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。そして、貴会の創立二十五周年にあたり、これまでの活動に改めて敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

帯広市では今年二月に、令和二年度からの十年間の指針となる「第七期総合計画」を策定しました。その基本構想として、「将来のまちの姿」を「あおあお ひろびろの まち」を信じて、未来を信じて、帯広」と示しました。ここに暮らす誰もが、十勝・帯広の歴史・文化に誇りと愛着を持ち、明るい未来を信じて、それぞれの挑戦や行動をする人たちがたくさんいる、活力あるまちの実現を目指して表現したものです。ひらがな四文字の三語

帯広市議会議長  
有城 正憲様  
ご挨拶



小賀会長をはじめ、関西帯広会の皆様におかれましては、日頃から十勝・帯広と関西圏との架け橋となり、ふるさと発展のためご尽力いただき、誠にありがとうございます。

長年にわたり、会員同士の交流や郷土の魅力発信など、精力的に活動が続けてこられました皆様深く敬意を表します。また、昨年十月には、「ふるさと訪問ツアー」で多くの方がお越しいただきましたことに改めてお礼申し上げます。

全国的に大規模災害が頻発する中、昨年の十勝・帯広は幸いにも大きな被害もなく、穏やかな一年でありました。天候にも恵まれたおかげで、十勝管内農協の農畜産物取扱高(概算)が三五四九億円となり過去最高を記録したことは、農業に携わる一人として、誠に喜ばしい限りでございます。

また、十勝・帯広の魅力が存分につまった「なつぞら」の放送等による観光需要の高まりもあり、とかち帯広空港の令和元年(暦年)東京線利用者は六十八万人を超え過去最多となりました。今年一月からは北海道内七空港の一括運営が始まりました。航空ネットワークの活性化や地域特性を生かした空港運営など、多くの皆様を訪れる空の玄関口として、ますます魅力的な空港になることを期待しているところです。

こうした中、世界各国に感染が広がった新型コロナウイルスは、わが国でも緊急事態宣言が出されるほどの猛威を振るい、二十勝・帯広においても外出制限や観光客の減少等により、住民生活や、飲食業・観光業などの産業分野で特に大きな影響が生じ、現在も解消されておりません。市民の生活を守るとともに、地域経済の安定化にむけて、議会としての役割を果たしてまいります。

今後も、議員一同、市民の声を市政に反映できるよう努めてまいりますので、皆様には、まちづくりへの変わらぬご支援、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、関西帯広会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

なつぞらの舞台  
十勝 帯広



帯広商工会議所  
会頭 川田章博様  
ご挨拶



関西おびひろ会の皆様には、日頃よりふるさと帯広のために力強いご声援を賜わり心より御礼申しあげます。

さて昨年の十勝の経済は、基幹産業である農業の管内農協取扱高が、過去最高の三五四九億円を記録するなど堅調に推移しましたが、その農業を取り巻く環境は、TPP11(環太平洋貿易協定)や日米貿易協定などの影響で大変厳しい局面を迎えております。

さらに、新型コロナウイルスによる世界的な感染拡大という思いもよらぬ事態に直面し、今やニューヨークやパリなどの大都市ではロックダウン(都市封鎖)が起き、かつて見た映画のシーンのような現象が世界にあちこちで見られるようになってしまいました。この十勝でも二月十七日に中札内村で十歳未満の保育園児が感染し、続く二十八日には北海道知事により外出を控えるよう「緊急事態宣言」が出され、以降、終息の見通しもつかない状況が続いております。

帯広商工会議所は昨年十一月一日より新たな執行体制による第二十九期のスタートを切りました。そして、このような事態を受け、いち早く行政・金融機関と連携したプラットフォーム組織「新型コロナウイルス緊急支援対策室」の設置や、マルケイ資金(小規模事業者経営改善資金)への利子補給の実施、新型コロナウイルスの被害事業者応援サイト「つなぐマルシェ」の立ち上げなど、精力的に中小・小規模事業者への支援

を実施しております。当所は本年、四月に再開発事業による希望の新帯広経済センタービルが完成、六月から新ビルでの活動がスタート致します。さらに令和三年二月には創立一〇〇周年の節目を迎えることとなりますが、二十九期のスローガン「拓けとかち、農商工連携新時代!」のもと、十勝一丸となつて何とかこの難局を乗り越え、十勝の未来へと繋いで参りたいと考えております。

関西おびひろ会の皆様には、今後とも帯広・十勝の応援団として情報提供、進むべき方向性についてのご提言・アドバイスを賜りますようお願い申し上げます。最後に、関西おびひろ会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申しあげ挨拶いたします。

# 2019年度定期総会並びに会員の集い



「第25回 定期総会および会員の集い」が令和元年5月26日(日)、ご来賓25名をお迎えし、会員54名の参加を得て、新大阪ワシントンホテルプラザで開催されました。

総会では平成30年度の事業・決算・監査の報告及び2019年度事業計画(案)・予算(案)、並びに顧問2名の退任の報告をし、会員皆様のご承認を頂きました。総会終了後、参加者全員で賑やかに集合写真を撮って、いよいよお待ちかねの「会員の集い」がスタート。来賓の米沢則寿帯広市長のご挨拶は、十勝が舞台となったNHK朝ドラ「なつぞら」にちなむものでした。会場からの質問にも答えて頂き、「ロケ地が帯広だったので、主役の広瀬すずさんにお会いしたいとNHKさんに頼んだのですがスケジュールが合わないと言われて、じゃあお母さん役の松嶋菜々子さんをお願いしたら、やはりだめで、結局、おじいさん役の草刈正雄さんにお会い出来ました。いやあ～男の私から見ても草刈さん、格好良かったです。」とのこと。楽しいご挨拶でした。乾杯の後は、ドラマ「なつぞら」のロケ地を知っていると、そこに最近行ったとかの自慢話や、ふるさとの懐かしいお漬物を前に、実家の味付けはちょっと違うといった、いわゆる「おふくろの味」談義で、大いに盛り上がりました。そんなこともあって、色々な種類のお漬物やグリーンアスパラ、柳月のお菓子など、ふるさと物産を帰りがけにお買い上げ頂いた会員さんも多かったようです。

例年通り、豪華景品の福引抽選会を楽しんでいるとあっという間に時間がたち、フィナーレはいつもの「おびひろの歌～北国の春替え歌バージョン～」の大合唱。令和最初の「会員の集い」はみんなの笑顔があふれる中でお開きとなりました。

理事 大島祐美子



## -関西帯広会サークル活動-

十勝地方の冬の体育といえばスケート。元気いっぱい十勝っ子8名が集まり、2020年2月24日滋賀県立アイスアリーナにて、第3回サークル活動を開催しました。

参加者たちはそれぞれ好みのスケート靴を選択。中にはマイシューズを持参した強者も。リンクのキリッと冷えた空気が気分を盛り上げる。靴紐をギュッと結び、リンクに降り立つ。スピードスケートで外周を優雅に滑走する者、ホッケーシューズで俊敏な滑りを楽しむ者、フィギュアで華麗な滑りを見せる者。そして参加者の度肝を抜いたのが現帯広会会長の小賀さん。御年78歳であるにも関わらず、いまだ現役でスケートを楽しまれている。参加者の楽しそうな姿を見ていると、子供のころ寒さで鼻やほっぺたを真っ赤にしながらもはしゃいだ姿が思い出されました。

今後もキャンプやサイクリング等、楽しいイベントを企画していきますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。



理事 渡辺祐輔

## 十勝なつぞら物産市

令和元年が始まり、NHKの朝ドラ「なつぞら」が高視聴率を上げ世の中で北海道・十勝の人気はたいそう高くなっていました。そこでこの人気を少しでも関西で長く続けるためにくおびひろ十勝「なつぞら」物産市を開催しようということになりましたが、それは8月初旬で「なつぞら」も9月で放送が終了する時期でしたがそこは「関西帯広会」開拓者精神で9月8日の日曜日に1日だけでも実施しよう!となりました。

ひと月足らずの時間で芽室町の「愛菜屋」にはスイートコーン、北あかり、インカのめざめを手配を頂き、柳月様には「三方六」をよつ葉乳業様にはバターとバターミルクパンケーキミックス、さらに試飲用のほうじ茶ミルクとミルクコーヒー(試飲用の紙コップまで)用意いただきました。開催場所が豊中の小さなお店で告知も少なく大イベントとはいきませんでした。小賀会長以下メンバー頑張つてすべて完売!しました。

これをきっかけに毎年、帯広十勝をPRするイベントを開催していきたいとメンバーは熱く燃えています。最後に「愛菜屋」 笛木様、「柳月」山添様、「よつ葉乳業」 斎藤様、藤岡様のご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

理事 勢川良一

# 創立25周年に寄せて



## 帯広市経済部 部長 相澤 充様

関西帯広会が創立25周年を迎えられますことに、心よりお祝いを申し上げます。

平成7年11月の設立以来、関西圏と十勝・帯広の架け橋となり、ふるさとの地域振興を支えてくださいましたことに、深く感謝いたします。

創立にあたり、多くの皆様が奔走され、ご尽力されたことと存じます。それから四半世紀の間、貴会におかれましては、会員の皆様の親睦を深めるとともに、十勝・帯広との情報交換や経済交流等に寄与され、現在も、ふるさとの対する熱い思いをもって応援し続けてくださっていることに、改めまして敬服いたします。

昨年9月には、貴会独自に「十勝なつぞら物産市」を企画され、大阪にて十勝産野菜・菓子の販売や観光パンフレット等の配布を行い、十勝・帯広をPRしてくださいました。また、10月には、「ふるさと訪問ツアー」として32名もの皆様をご来帯くださいました。遠く離れた関西に、ふるさとを常々気に掛けてくださっている方が、このように大勢いらっしゃるという事実は、私ども十勝・帯広で暮らす者にとって、大きな喜びと誇りであります。

結びになりますが、これまで同様に、末永く十勝・帯広を支えていただきますようお願い申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を、心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 株式会社 十勝毎日新聞社 代表取締役社長 林 浩史様

関西帯広会が設立25周年の節目を迎えられ、心からお祝いを申し上げます。

貴会はふるさとの応援団として十勝・帯広の魅力に関西にお住いの方々に広めてくださっておられます。地元の行政や団体が物産展等に出展する際にもご協力をいただいております、大変心強く感じているところです。

昨年のNHK連続テレビ小説「なつぞら」のおかげもあり、関西でも十勝の知名度は高まってきていることと思います。今年から北海道内7空港の運営が民間委託され、とち帯広空港の就航路線拡大が見込まれています。帯広ー関西線が一日も早く再開し、人や経済の交流がこれまで以上に活発になることを期待してやみません。

さて、十勝では今、航空宇宙に関する取り組みが盛んです。昨年は、大樹町に本社を置き、堀江貴文氏が創業したことで知られるインターステラテクノロジズが、国内民間企業単独では初めて宇宙にロケットを打ち上げました。また、弊社は地元の企業、団体とともに、「北海道航空宇宙企画株式会社」を立ち上げ、関連産業の集積を目指しています。会社の顧問に元トヨタ自動車副社長で、豊田中央研究所の加藤光久会長が就任してくださるなど、機運は高まるばかりです。宇宙開発の拠点としても成長する十勝にご注目ください。

北海道も新型コロナウイルスにより大きな影響を受けております。終息した暁には関西との活発な交流が再開されるものと確信しております。貴会の皆さまには引き続き関西での十勝のPRにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

弊社といたしましても、報道等を通じて貴会の活動をサポートし続けたいと考えております。

最後となりますが、関西帯広会がますますご発展されることをお祈り申し上げますとともに、皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 新会員 石原慎太郎

関西帯広会との出会いは、2年前の夏に遡ります。「UMEDAガーデン十勝フェア」のイベントへと参加し、この会の存在を知りました。その後、新年会に参加させていただき、皆さんの優しさと故郷の懐かしさを感じ入会をしました。



私自身は、芽室町で生まれ、帯広南商業高校を卒業後、進学で関西へと来ました。もうすぐ、北海道で過ごした年月よりも関西にいる時間が長くなりそうです。雪があまり降らない関西ですが、冬になるとスキーやスノーボードに出かけ、雪国育ちらしい遊びをして楽しんでいます。スケートをしたり、スキーをしたりイベントを通して、会員の皆様と楽しく地元の話をしていきたいですね！

## 新会員 常谷麻子

はじめまして、新入会員の常谷麻子(つねやあさこ)と申します。私は、厚岸で生まれ育ち、小学生の頃、毎年帯広の芋掘り大会や、グリック王国に行くのが楽しみでした。大阪大学・大阪市立大学大学院に進学し、合計7年間過ごしました。その後しばらく札幌で弁護士修行をしましたが、帯広で開業した先輩弁護士の企業再生手続を手伝ったことを思い出します。ここ5年ほどは関西が恋しくなり、現在は、大学の同級生ら三人で法律事務所をやっています。

先日、同僚がお客さんから六花亭の十勝日誌をいただき、何故か私が自慢気に、バターサンドは冷やしても美味しい、最近は霜たみが美味しい、などと講釈して、皆で美味しくいただきました。帯広大好きです。よろしくおねがいします。

## 新会員 植田順一

「地元帯広の魅力をもっと広めたい！」

これが関西帯広会に入った一番の理由です。いままで札幌を初め千葉・鹿児島・大阪と様々な地域で仕事をしてきました。その土地の食や人々の生活文化などの魅力を感じると同時に、私の地元である帯広の魅力を発信していきたいと思いました。が、しかし私1人ではどうにもこうにも行動に移せなかった為コミュニティを探していたところ、関西帯広会というものがあることをSNSで知り入会させていただきました。新春顔合わせ会に参加させていただき、久しぶりに地元の話も



でき、奇跡的に同期とも出会い、楽しい時間を過ごすことができました。これからも活動に参加して愉快的関西帯広会の皆さんと帯広の魅力を関西に広げていけたらなと思います。



## 法人会員

# 創立25周年に寄せて

## 会員 藤田俊彦

お久しぶりです。皆さまお元気でしょうか。

平成12年から18年にわたり、理事・事務局長を務めさせていただいた藤田です。

平成七年の設立総会に単身赴任先の名古屋から参加したのが会との出会いです。役員になってからは森田会長、小関会長、山田会長の下で、ふるさと訪問、一泊旅行、ビアパーティー、秋の集い、新春顔合わせ、例月のサロン会、ふるさと物産販売、会報の年2回発行、町や村の物産PR活動などに取組みました。どのようにしたら会員の皆さまに参加いただき、楽しんでいただけるかが一番の仕事でした。至らぬ点が多かったのですが、参加会員も次第に増え、集まった方々の笑顔に励まされて続けることが出来ました。今も、往時のアルバムを見ながらあれこれと思い出しています。心残りは、十勝と大阪の直行便の再就航が実現されていないこと。大阪市内や関西で署名活動もやりましたが、一日も早い実現を願うばかりです。



私も後期高齢者、十勝を強く懐かしむ毎日です。父が亡くなる直前、病床から生まれ育った「田舎(石川県)に帰りたい」と懇願されたのが思い出されます。今、その気持ちがとてもしっかりします。

会員の皆さまには、ますますのご健康をお祈りします。また、関西帯広会が十勝との絆を更に強くし、30年、50年と発展することを願っています。会合で皆さまとお会い出来るのを楽しみにしております。

## 会員 石田晁子

・・・楽しい時間をありがとう・・・

帯広の清川町で今も営業している、「白樺ジンギスカン」の隣が私の実家でした・・・

帯広の大谷高等学校を卒業して札幌の国鉄(現JR)に5年間勤めたのちに、昭和45年大阪万国博覧会の年に縁あって京都に嫁に来て今年で51年に成りました。

平成7年に発足した関西帯広会には帯広市役所から連絡を頂き2年後に入会をしました。

知らない人ばかりだろうと思っておりましたら、国鉄時代の同僚でもあった辻本敬子さん、そして、穂刈瑛子さんのお母様が母校の大谷高等学校の教師だったことも知ることが出来て、心配していましたが心が安らぎました。

「ふるさと帯広」の方々との触れ合いの中で、何もできない私でしたが皆さんにお世話になりながら役員として長い間務めさせていただきました。

この度、若い人たちに関西帯広会の運営を引き継いでいただこうと思い退任させていただきます。

今後は、一会員として皆さんと一緒に関西帯広会の発展と、ふるさと帯広・十勝の益々の発展に微力ですがお手伝いさせていただきます。今後とも宜しくお願い致します。皆さんありがとうございました。



## 会員 石川宜江

平成から令和に移り初の集いが1月26日ワシントンホテルでおこなわれました。

沢山の方の参加で料理も美味しくお漬物の品数も沢山あってグラスワインも進みました。ミニオーケストラの演奏もステキでした。帯広会も今年は25周年との事、おめでとうございます。これまでの集いや四季折々の名所・旧跡の日帰りミニ旅行、充実したふるさとツアー等の載っている会報や写真を広げてみたら何と沢山、これだけの行事を計画し実行して下さった役員の方々に感謝し、たっぷり思い出に耽りました。ありがとうございました。

昨年はNHKの朝ドラ「なつぞら」では広々とした美しい景色、沢山の牛や馬・なつかしい十勝が次々と見られ郷愁を感じました。春の選抜高校野球には舞台となった帯広農業高校と白樺学園の2校が十勝から出場予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となり応援は叶わなくなりましたが、めげずに頑張ってもらいたと思います。今年はオリンピックの年でもありましたが、世界中にウイルスが蔓延し感染拡大し、行事の中止・休校・休業等大変な事になっています。どうか皆で自粛協力し一日でも早い平静に戻ります様に願っています。感染された方のご快復を心よりお祈り申し上げます。今後共よろしくお願い申し上げます。



# ～2020選抜高校野球大会～

事務局長 石原好一

まさか十勝から2校も選ばれるという快挙が、まさか中止になるなんて「なんていう年だあ」。当会25周年に併せた一大応援計画をしていたのに大変残念でしたが、それ以上に選手の無念は察するに余りあります。両校とも春の選抜は初出場、白樺学園は秋の北海道大会に優勝し、明治神宮大会では東京代表の国士館に勝ち、関東代表の健大高崎2-3で惜敗しベスト4となった実力校です。21世紀枠の帯広農業高校は北海道大会ベスト4で、NHK朝ドラ「なつぞら」のモデルとなり、主演の広瀬すずにあやかりスピードと頭脳の「すず野球」をスローガンに平均打率4割を超える出場32校中4位の強打を誇ります。両校が勝ち上がって対戦したらどっちを応援しようかと悩んでいたところでした。夏の甲子園には北北海道代表として是非来て欲しいと願うばかりです。悔しい春の分を取り返そうではありませんか。両校には今後期待し、関西帯広会も全力で応援して行きたいと思えます。ガンバレ白樺！・ガンバレ帯農！



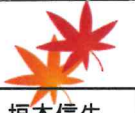
白樺学園高等学校野球部



帯広農業高等学校野球部



# ふるさと訪問ツアー2019



副会長 垣本信生

第11回ふるさと訪問ツアーは10月25日から28日の日程で開催されました。今回はNHKの連続テレビ小説【なつぞら】が十勝帯広を舞台として描かれ放映されたこともあり31名の会員のみなさまと帯広に伺いました。

今回の訪問ツアーは、【なつぞら】の舞台をめぐり十勝帯広を堪能すると題して、初日は帯広空港からウエモンズハート(広瀬牧場)でのアイスクリーム作り、帯広市役所の表敬訪問、歓迎会での帯広市関係者との交流。2日目は神田日勝記念美術館(山田天陽のモデル)、柴田牧場ロケ地、共働学舎、帯広百年記念館、柳月スイートピアガーデン、十勝川温泉(笹井ホテル)宿泊。3日目は広尾漁港、大樹町多目的航空公園でのロケット打上げ体験、帯広競馬場での観戦。4日目は帯広市卸売市場、真鍋庭園(山田天陽の家とアトリエ)を巡りました。4日間で【なつぞら】の舞台を見学すると共に、その時代の生活や生き様を学びふるさとの成り立ちを再認識する機会となりました。

さて、私は3日目の行程を抜け出し、石原さんと共に27日に開催されたフードバレー十勝マラソンに参加。紅葉を堪能しながら5000人以上のランナーと帯広市内を駆け抜けました。沿道では六花亭さんがシュークリームを振舞われ、自衛隊の駐屯地では隊員の方から力強い応援を頂きました。個人的には高校時代に陸上部に所属しており、緑ヶ丘や帯広の森などでよく練習したことを思い出し、今のペースとの違いに苦笑いしてしまいました。親善交流課の阿部さん、帯広会の佐野さん、長時間の応援有難うございました。また、今回ふるさと訪問ツアーを企画して頂いた親善交流課の三品さん、大澤さん、帯広会の黒川さん、帯広市の関係者の方々に感謝とお礼を申し上げます。



(大樹宇宙センターにて)



(帯広市歓迎会にて)



(しばた牧場のロケ地)



## 新春初顔あわせ

令和初の新春初顔あわせの集いは音楽と共に。

一月二十六日(日)に新大阪ワシントンホテルプラザにて、五十九名の方に参加いただき無事終了しました。高級焼酎「森伊蔵」会員の吉永様から、日本酒「北の勝」関西北海道クラブ副会長の浦上様から差し入れていただきました。ありがとうございました。

今回のテーマは「ゆとり」。ゆとりといえば文化的な活動として音楽かと思いき、今回は初めての試みとして京都で主に活動されているクラシックの弦楽七重奏団「響(ひびき)」さんをゲストに迎えました。新春の会員の再会にふさわしい清々しい弦楽器のアンサンブルの音色を聴かせていただきました。音楽ネタという事でチェロと鍵盤ハーモニカによるイントロクイズなどで盛り上がり、また「響」さんに再登場いただいてNHKの紅白歌合戦では聴けなかった「なつぞら」のテーマの演奏、また恒例の「おびひろの春」の出席者全員での合唱コーナーでは「響」さんの生伴奏付きで会員の皆様にも大変喜んでいただきました。ご参加の皆様ありがとうございました。

理事 眞多美恵



(広瀬牧場にて)

### 辻本保彦 画伯 作品「大沼公園」



### 芽室町出身 尾車部屋「矢後関」 三月大阪場所

3月4日、昨年に続き大相撲春場所の為来阪中の十勝芽室出身の「矢後」関の陣中見舞いに大阪府堺市北区黒土町の尾車部屋稽古場へ行ってきました。無観客による開催が決まっております。応援には行けない為一言声を掛けようと思っていました。昨年春より負け越しが続いており稽古にも精彩を欠いており「どうしたの?」と聞いても、寡黙なお相撲さんですので「頑張ります。」の返事だけでした。結果は十両十枚目の今場所も4勝11敗で負け越しでした。体調を整えて出直し、「ヤゴ」から「トンボ」に変身し、十勝出身の横綱、北勝海・大乃国に続いてもらいたいと願っています。

余談ですが当日の出稽古に元横綱大乃国の芝田山親方が弟子を連れて来ており、同郷である芽室町美生の田舎談義をさせていただきました。

事務局長 石原好一



あおあお ひろひろ いぎいぎ 未来を信じる 帯広

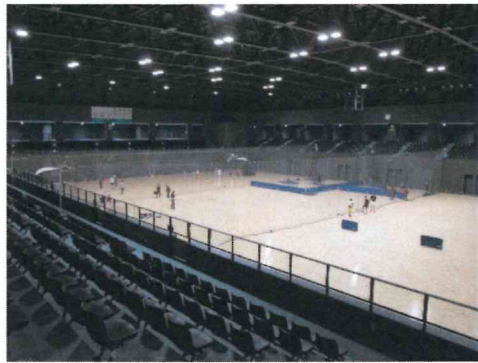


小中学校に「おびひろ市民学」導入

帯広市では、全小中学校の児童生徒を対象とした学習として「おびひろ市民学」を令和二年度から新たに実施します。帯広市の豊かな自然環境、歴史、伝統、文化、産業、地域住民との関わりを通して「ふるさと帯広」に対する誇りと愛着を育み、地域社会の一員として地域づくりに関わる子どもを育てることを目的としています。

帯広・十勝ニュース

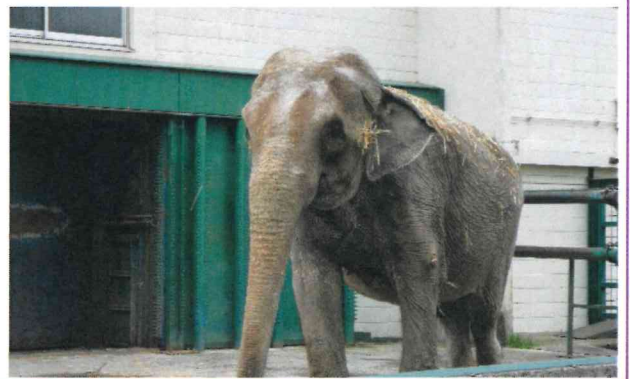
「よつ葉アリーナ十勝」オープン



今後長きにわたり、帯広市民の健康増進、競技スポーツの振興、地域活性化に資する十勝の拠点として、末永く愛される施設となるよう運営していきます。

帯広市の新総合体育館が、令和二年二月二十九日にオープンしました。よつ葉乳業(株)様と三十年にわたるネーミングライツ契約を締結し、愛称は「よつ葉アリーナ十勝」となりました。

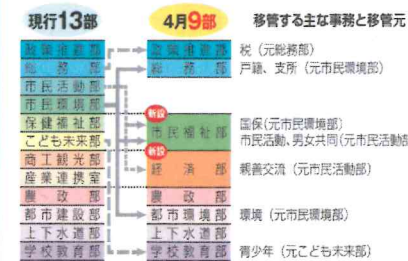
象のナナ長い間ありがとう!!



「おびひろ動物園」は昨年四月にツイッターを始めました。エゾタヌキが紅葉の落ち葉から顔を出す様子の動画が人気を集めるなど、フォロー数は約三万人(三月末現在)に上り、好評を得ています。

令和2年4月1日付けで、帯広市は組織を再編し、親善交流課は観光課と統合して「観光交流課」になりました。

\*部を再編し、相互に関連する政策課題へ柔軟に対応
▶13部から9部に。全体として、より効率的な組織体制を編成



\*「市民福祉部」を新設 → 地域共生社会、社会福祉分野の連携を推進
\*「商工観光部と産業連携室を統合し「経済部」を新設 → 産業間連携を推進
\*「危機対策課」を新設 → 危機対策の体制を強化

帯広市 経済部 観光交流室 観光交流課

Table with 2 columns: 職名 (Job Title) and 氏名 (Name). Lists staff members including 部長 相澤 充, 課長 大林 健一, etc.

音更町物産展開催

音更町では令和2年2月6日(木)から8日(土)までの3日間、J A 茨木市農産物直売所「みしま館」において北海道音更町物産展を開催いたしました。

この物産展は、大阪府内の高校の修学旅行生を本町の農家民泊で受け入れているご縁もあり、平成24年からJ A 茨木市様のご協力のもと毎年開催しており、今回で9回目を数えました。

毎年大人気のじゃがいもや、皆さまおなじみの「よつ葉乳業」の乳製品のほか、昨年のNHKの朝ドラ「なつぞら」のモチーフとなり話題となった柳月のお菓子などを販売いたしました。

開催日は寒波の影響で雪もちらつく天候でしたが、関西帯広会の皆さんもたくさん駆けつけてくださいました。リピーターの皆さんからも「毎年楽しみにしているよ～」と温かいお声をたくさんかけていただき、心はホットな3日間でした。

来年もよろしくお祈りします。

音更町経済部 惣万真至

